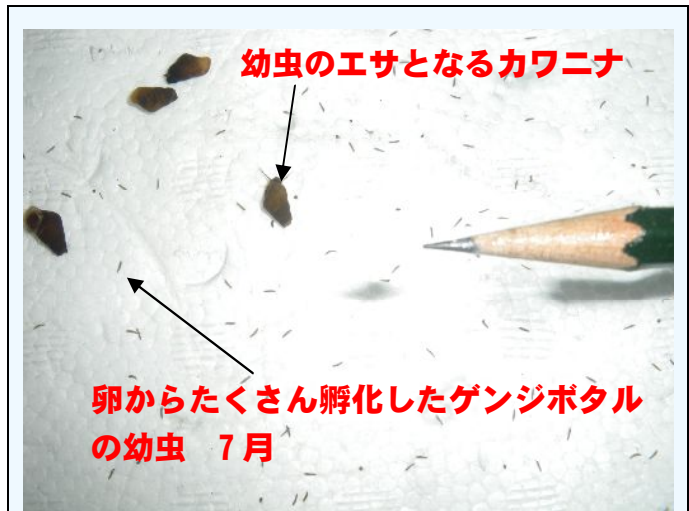


テーマ:『 地域の自然環境に目を向け、体験的活動を通した、豊かな心を育てる環境教育 』

上三川町立 本郷中学校

Tel. 0285-56-2136 担当者: 上野 清子



■実践内容：直接的体験が不足しがちな中学校において、地域の自然に目を向け、下記のような体験的活動を取り入れることにより、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成を目指して取り組んできた。また、地域の人たちと連携することにより、地域に根ざした活動にも取り組んできた。

- (1) 校内環境緑化活動。
- (2) 学区内環境調査
- (3) 校内の自然環境調査と樹木ネームプレートの整備・環境コーナーの整備
- (4) 授業への実験、観察、飼育・栽培活動の積極的な導入
- (5) 地域の磯川緑地公園に目を向けた体験活動。(ホタルの幼虫の飼育・放流)

■実践成果：中学校で少なくなりがちな、ひと(生徒・教師・保護者、地域の人々)、もの(動植物・地域の自然等)、こと(自然体験・勤労体験・観察・ボランティア活動等)との豊かなかかわりの中で生徒の「豊かな心」が育まれつつある。また、地域の人たちと共に活動することにより生徒の郷土愛も高まりつつある。

■実践ポイント：地域の自然に目を向け、意図的、計画的に直接的な体験活動を取り入れてきた。特に「ゲンジボタル」の飼育、観察、放流については昨年度の実践をもとに卵から飼育した幼虫を放流し、ホタル鑑賞会を開催することができ、地域の人々からも大変喜ばれた。また、諸活動においても一年間を見通し、季節の移り変わりを踏まえながら、タイムリーに活動をしていくため、活動の主体と時間の確保、指導の主務者を明確にして取り組み、成果を上げることができた。